

インテークマジックの北海道札幌市での公開実験新聞報道

「インテークマジック」 公開実験で効果実証

長岡新貴工業ら特約店

自動車の燃費を向上させ、排ガス中の有害物質を削減する環境商品「インテークマジック」の公開実験が23日、東区の三愛自動車で行われた。

「インテークマジック」は、エンジンに送る空気の流れを変え、より完全燃焼に近づけるパーツシールのような物で、エアクリナーボックスに張り付けるだけで効果を発揮する。

インテークマジック(富山市)が総発売元、長岡新貴工業(東区、藤戸芳樹社長)、荒川設備(登別市、荒川昌伸社長)ら

が特約店として道内への普及を進めている。

公開実験は、特約店、販売店が共催。販売店や販売店希望者、一般ユーザーら約30人が参加した。

まず開発者の徳本敏高氏が車の排ガス成分と環境への影響「インテークマジック」による有害物質削減効果などを説明。

続いて参加者の車を使い、装着前後の排ガスに含まれる一酸化炭素、炭

化水素量を測定した。アイドリング中、装着前も一酸化炭素はほとんど排出されていなかったが、アクセルを踏んだ測定では、一酸化炭素、炭化水素ともに装着前後に大きな差が出て、効果が確認された。

きょう25日には、室蘭市でも公開実験を行う。

参加者の車を使って行った公開実験

